

# 平成29年度 学校評価報告書

4段階評価：A—十分に達成できている状況 B—おおむね達成できている状況 C—どちらかといえば達成できていない状況 D—ほとんど達成できていない状況

評価の数値(%)＝総数における肯定的意見(4・3)の割合 \* (0) わからないは除く 【4:十分できている 3:大体できている 2:やや不十分である 1:不十分である 0:わからない】

教育目標 1 真理を探究し正義を愛する生徒を育成する	2 個性豊かで社会的資質に富んだ生徒を育成する	3 健康的で勤労意欲旺盛な生徒を育成する
----------------------------	-------------------------	----------------------

重点目標	学校評価項目	教職員評価	保護者評価	生徒評価	自己評価		学校関係者評価	
					評価	概評と改善策	評価	提言
「学ぶ力」や「学んだ力」を育成するための授業改善をめざす	本校は、(ICT機器利用の)学習効果を高める環境が整えられていますか。	68.4	83.3	87.3	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業改善に対する前向きな姿勢をはじめ、学習指導全般に対する教職員の熱意が感じられた。求められる新しい学力観を意識し、ジグソー法などアクティブラーニング型の授業が盛んに試みられ学校全体に浸透しつつある。今後も効果的な授業デザインの研究を進め、生徒が自ら考え学んでいこうとする主体的な学びを追求していきたい。</li> <li>今年度から、1年生全員と2・3年生の希望者に対しスタディサプリによる自習スタイルを取り入れた。環境整備はできたが、十分な学習成果が得られたとは言い難い。これまでであった宿題や課題との関連性を踏まえ効果的な活用方法を探っていきたい。また、家庭学習だけでなく学校での授業に絡め活用していくことも考えたい。</li> <li>ICT機器の整備がすすみ、授業への積極的な活用が加速している。今後は全ての教室に配備される。全ての教員が日常的に使えるレベルに高めたい。</li> <li>小中学校とお互いに授業を公開しあうことで、延べ50人近くの授業見学があり校種間の理解は深まった。今後、小学校から高等学校までの長期的視点に立った学力育成に向け具体的な連携施策を始めたい。</li> <li>図書館の活用については、授業等では安定して利用されているが、本の貸し出し数は減少している。出張図書館展示などのPRを工夫し、「図書館だより」などを充実し生徒の興味を引くような活動を展開したい。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>アクティブラーニングは生徒にとって楽しく面白いと感じるようだ。積極的に取り組んで欲しい。</li> <li>読書活動は大切である。小・中・高一体となって読書指導に取り組ませることはできないものか。図書館からの便りは、良い取り組みである。</li> <li>学校の中での活動だけでなく、地域社会での活動をしている生徒もたくさん見られる。このような活動を認めてあげて欲しい。</li> <li>ボランティア活動や障がい者との関わる体験、異なる年齢の大人との関わりなどを積極的に奨励して欲しい。</li> <li>島根県の石見部全体の学力低下がみられ残念である。危機感を持ち、小・中・高一体となって学力向上に取り組んで欲しい。</li> </ul>
	生徒が宿題・課題やスタディサプリ等に取り組むことは、学習習慣の確立や基礎学力の向上につながっていますか。	70.6	82.2	75.2				
	本校は、生徒自身の「学びたい」という気持ちや「学ぼう」という気持ちに応えていますか。	86.1	76.5	79.4				
	公開授業や研修を通じて、授業の改善が図られていますか。	83.3						
	本校の図書館は、生徒にとって利用しやすいですか。	87.9		74.4				
	本校の図書館の蔵書構成(生徒が読みたいような本、調べ学習に役立つ本等)は充実していますか。	87.9		75.2				
	「図書館だより」や廊下等での書籍の紹介や貸し出しは、読書についての興味関心につながっていますか。	88.6		52.8				
地域・家庭とともに成長する学校をめざす	服装・髪髪等、本校の生活指導はきちんと指導がされていますか。	94.7	97.3	88.9	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>多くの生徒は学校内において規範意識をもって充実した学校生活を送っている。今後は、生徒自らが考え、行動に移せるような支援を行っていきたい。</li> <li>挨拶は、校内だけでなく校外においてもできているようだ。一方、交通マナーについては、若干守られていない生徒も存在している。自転車の鍵かけ指導も含めて指導を徹底したい。</li> <li>ボランティア活動や地域社会に貢献する活動に対しては、積極的に参加を促してきた。今後は、保護者への周知も努めるとともに、取り組んだ活動に対しては、認め評価していきたい。</li> <li>土曜日補習については、一部でその意味を見いだせていない現状がある。もう一度、教員間で実施する意味を確認し、生徒にきちんと説明し取り組みませたい。また、実施方法や時期・時間も検討し学力向上に役立てたい。</li> <li>生徒の進路意識の高揚に向け、学年会と進路指導部が連携しながら検討会を計画的に実施した。コースや科目選択はできたが、志望理由を深めたりするには個別指導がさらに必要である。</li> <li>進路に関する保護者への説明会は、毎回多くの参加者がある。特に3年生保護者対象のセンター試験を中心とした説明会は、タイムリーな実施で高い評価を得ている。今後は保護者生徒にとって必要な情報を適宜提供していきたい。</li> <li>地域探究学習については、大田市から派遣された魅力化コーディネーターと連携しながら、少しづつ形になってきたところである。これまで以上に地域を意識するものになっている。さらに、大田高校らしいものに磨き上げていきたい。</li> <li>魅力化に向けて、今年度は主に大田高校の課題の整理とその解決を目指し手探りな中で様々な事業を展開してきた。今後は、教職員共通理解のもと目指すべき力の育成に向けた取り組みを推進していきたい。</li> <li>PTA総会の参加者は、近年で最も多かった。時間の短縮などを工夫することでより有意義なものにしていきたいと考えている。授業公開日については堅調であったが、多くの保護者に参加してもらえるよう、開催日の変更を検討する。</li> <li>新HPが完成し、頻繁に更新している。また、「つむぎ」の大田市内全戸への回覧が始まり、市民の皆さんに見ていただけるようになった。さらに、大田高校のPRポスターも作成し市内各所に貼っていただく。今後は保護者や地域社会に対し各種の情報発信に努め、地元の学校としての認知度を高めたい。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>昨年度のこの会議で新聞等に報道を依頼してはどうかと提言した。今年度、度々新聞やテレビに大田高校が取り上げられている。地元ケーブルテレビなど、さらに様々な形での情報発信を検討してもらいたい。</li> <li>生徒の交通マナーについては、今のところ特に問題点は感じないが、歩きスマホに対してはその危険性をきちんと指導してもらいたい。また、自転車の鍵かけは学校の駐輪場でも徹底して指導してもらいたい。</li> <li>生徒の挨拶については、外部からも高い評価を耳にする。今後も続いて欲しい。</li> <li>寮は、綺麗で充実した設備であるこ</li> </ul>
	部活動の内容は、生徒、保護者にとって満足できるものですか。	81.8	70.8	74.3				
	本校は、学園祭の計画・運営など生徒会の活動が盛んになるように支援していますか。			76.4				
	本校は、生徒のボランティア活動等への積極的な参加を支援していますか。	83.8	55.9	73.3				
	本校は、保護者進路説明会等を通じて、保護者に進路に関する情報を伝えていますか。	94.6	84.4					
	本校は、進路講演会や学年集会等を通じて、生徒に進路に関する情報を伝えていますか。	94.6		83.5				
	本校のキャリア教育や地域学習は、生徒に自分の生き方や在り方について考えるものになっていますか。	71.0	65.2	73.9				
	土曜日補習(全年対象)や放課後補習(3年対象)は、生徒の学力向上に役立っていますか。	70.6	77.2	58.0				
	本校は、生徒それぞれの進路志望の実現に努めていますか。	97.3	79.3	83.2				
	PTA総会、授業公開日など保護者対象の行事は、有意義なものになっていますか。	70.6	60.9					
	本校は、「つむぎ」「泰山木」・大田高ホームページ・学年通信等で、学校の様子を伝えていますか。	94.7	78.1	80.4				
大田市との連携によって本校の魅力化が推進されていますか。	81.8							
自他の生命や人権を大切にす生徒をめざす	本校は、生徒の安全確保を適切に行っていますか。	94.7	80.3	83.2	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>防災教育や、防災避難訓練をとおして安全の意識を高めた。今後も、継続して避難経路等について検討し、さらに安全で安心な校内環境の整備に努めたい。</li> <li>感染症や熱中症については、マニュアルを活用しながら予防できた。また、生徒や保護者への注意喚起も適切であった。今後も流行に関する早期の情報収集を図りたい。</li> <li>今年、いじめアンケートを毎学期実施した。つかんだ情報については、該当の担任を中心に着実に対応している。今後、アンケートはより答えやすいものに改善し、些細なことも見逃さないようにし、組織的に対応していきたい。</li> <li>支援の必要な生徒に対して、様々な機会をとらえて情報の共有化を図り合理的配慮や支援を組織的に行うことができた。スクールカウンセラーによる教育相談は相談件数も多く、十分に活用されている状況である。今後、新入生に関する中学校との引継ぎを確かなものにしていきたい。</li> <li>人権学習や講演会をとおして、生徒の人権意識を高める学習は計画通り実施できた。一方で、コミュニケーション力については依然として課題として残っている。全ての教育活動において意識していきたい。</li> <li>アンケートで、心配なことがあったとき気軽に相談できると答える生徒が少ない。今後、生徒との距離を縮める努力が必要で、こまめに面談を重ね信頼関係を構築し気楽に相談できる雰囲気をつくりたい。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>昨年度のこの会議で新聞等に報道を依頼してはどうかと提言した。今年度、度々新聞やテレビに大田高校が取り上げられている。地元ケーブルテレビなど、さらに様々な形での情報発信を検討してもらいたい。</li> <li>生徒の交通マナーについては、今のところ特に問題点は感じないが、歩きスマホに対してはその危険性をきちんと指導してもらいたい。また、自転車の鍵かけは学校の駐輪場でも徹底して指導してもらいたい。</li> <li>生徒の挨拶については、外部からも高い評価を耳にする。今後も続いて欲しい。</li> <li>寮は、綺麗で充実した設備であるこ</li> </ul>
	スクールカウンセラーの利用について周知されていますか。	73.0	77.7	88.5				
	保健講話や保健室からの情報発信や定期健康診断結果等は、健康管理に役立っていますか。		87.2	72.9				
	生徒の健康管理・維持への対応や指導は適切ですか。	86.5		78.9				
	本校では、人権学習や講演会を通じて、人権意識を高める教育が行われていますか。	83.3	76.0	83.7				
	本校は、何か心配なことがあれば生徒や保護者が気軽に相談することができる学校ですか。	81.3	59.5	47.1				
	本校は、面談等を通して生徒理解に努めていますか。	89.2	80.1	77.8				
総合的に見て、本校に入学して良かったですか。		92.8	71.5					